

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県桂川ウェルネスパーク	所管課	県土整備部 都市計画課
所在地	大月市富浜町鳥沢8438	設置年月日 (改築年月日等)	平成19年3月23日
管理方式	アメニス山梨(桂川)グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること。 ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)農林業の体験の場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 44.2ha(うち指定管理区域42.4ha) ○施設の内容 ・西ゾーン(9.9ha) 里山交流館(管理棟866㎡、木造2階建)、交流広場(芝生広場)、 遊びの庭(遊具)、菜園、体験の庭、駐車場 等 ・中央ゾーン(16.0ha) 農業見本園、里山体験棟(納屋129㎡、木造1階建)、子供広場(遊具)、 中央広場、平坦広場、運動広場、ドッグラン、吊り橋(L=122m、W=2.0m) 等 ・東ゾーン(16.5ha) ピクニック広場、バーベキュー場、園路、棚田、四阿、散策路、 駐車場 等		
主な業務内容	(1)公園施設(緑地含む)及び設置器具等の維持保全に関する業務。 (2)有料施設の利用承認に関する業務。 (3)農林業の体験の機会の提供に関する業務。 (4)県が実施するイベント等への協力。		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	86,883	91,474	77,161	
	(うち事業参加者数)	(10,616)	(12,569)	(13,630)	
	(うち有料施設利用者数)	(6,368)	(6,253)	(9,202)	
	利用者数合計	86,883	91,474	77,161	
	目標値	92,000	96,000	100,000	100,000
	目標値設定の考え方 及びその理由	前年度実績を上回る目標数値とする。			
対28年度比		105.3%	88.8%		
利用率	238人/日	251人/日	211人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	平成31年度 (計画値)
収入	施設利用料	291,900	300,000	266,950	223,000
	指定管理者委託料	60,428,000	60,376,000	60,376,000	63,379,000
	その他	702,529	800,000	693,972	870,000
	収入合計(A)	61,422,429	61,476,000	61,336,922	64,472,000
支出	人件費	23,539,068	23,363,000	23,743,323	27,477,000
	県への納付金				
	管理運営費	37,834,556	38,113,000	37,572,282	36,995,000
	うち外部委託費(B)	24,757,895	25,000,000	25,340,260	24,324,000
	支出合計(C)	61,373,624	61,476,000	61,315,605	64,472,000
収支差額(A-C)		48,805		21,317	
外部委託比率(B÷C)		40.3%	40.7%	41.3%	37.7%
利用者一人当たりの経費		660.6	603.8	782.5	633.8

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～31年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答総数:310名
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	78.5%	19.4%	1.3%	0.8%
トイレや休憩所について	81.5%	15.7%	1.7%	1.1%
園路や広場について	81.7%	16.4%	0.6%	1.3%
園内情報・案内板について	76.2%	19.5%	2.6%	1.7%
園内の安全・防犯について	78.5%	18.0%	2.4%	1.1%
公園スタッフの対応について	65.8%	30.6%	2.7%	0.9%
施設全般の満足度	73.5%	22.7%	2.6%	1.2%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除が行き届いており良い。 ・ベンチのメンテナンスが行き届いている。 ・小学生以下の子供でも安心して遊ぶことのできる遊具が欲しい。 ・室内の遊び場も充実していて嬉しい。 ・イベントの案内をもっと増やして欲しい。 ・メールマガジン等でイベントの告知をしてもらえると嬉しい。 <p>公園スタッフの対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫に関連したイベントを増やして欲しい。 ・野菜の販売をして欲しい。
利用者の意見への対応	<p>【施設の清潔さの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流館および体験棟館内は、イベントの使用直前、直後に再度の清掃をかけ、利用者が常に心地よく使えるよう配慮している。 <p>【遊び、安全、安心感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士東部建設事務所と協議の上、遊具の更新計画を進めている。 ・室内のキッズスペースの玩具を随時追加するなどして、幼児でも遊ぶことのできる場所の確保に努めた。 <p>【広報、利用、案内等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くのご家庭の手元に広報が届くよう、新聞への折込チラシの枚数および配布範囲を増刷し、FacebookやInstagram,ブログでのイベントの告知を都度、更新している。また、Facebookの有料広告サイトでの告知なども行い、広報の範囲を延ばしている。 <p>【イベントの充実感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節折々の畑管理作業および収穫体験を行っている。また、収穫した野菜を使った料理やクラフト体験も合わせた食育プログラムに力を入れている。 ・四季に沿った行事祭りも充実させ、里山の暮らしを体験し身近に感じてもらうよう、イベントの企画を実施している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>植栽管理においては、極端な強剪定や刈り込みを行わず里山公園らしさを出せるよう行い、また、公園と民地との境界部の草刈りについては早期対応を行った。</p> <p>施設管理においては、木製遊具のささくれ等により怪我が発生しないよう補修を行い、遊具についても、専門会社による年2回の定期点検、スタッフによる月2回の点検や補修を行った。さらに、枯損木の伐採や降雨後の園路清掃などを行い、常に来園者が安全かつ快適に利用できる状態を維持した。</p>	<p>適切に維持管理業務が行われている。木製遊具の老朽化が進んできているが、遊具による怪我等が発生しないよう、適切な点検や迅速な修繕を行っており、利用者の安全性の確保に努めている。</p> <p>今後も、利用者へ安全な公園環境を提供出来るよう、適切な維持管理に努めること。</p>
運營業務	<p>有料施設やBBQの利用予約、ドッグランの利用登録など、平等かつ適切な運用を行った。所定場所以外での喫煙や危険行為に対しては、利用指導を行うとともに、来園者の多い日には公園利用ルールを放送で案内した。苦情要望に対しては、朝礼や夕礼時にスタッフ全員に内容と対応を共有した。大きなトラブルは無く、1年間運営することができた。</p>	<p>利用者へ適切な公園利用を促しトラブルや事故等の発生防止に努めた。</p> <p>SNSをはじめ各種メディアを活用し施設の認知度の向上に努めているものの、利用者が目標値に達しなかったため、利用者のニーズに合ったイベントの開催やさらなる施設の情報発信に努めること。</p>
利用状況	<p>夏場の猛暑の影響が大きく、来園者数は伸び悩んだ。前年度に引き続き、毎週末の自然体験イベントから季節の催事など開催したほか、2000人規模の公園主催イベントを年4回から年6回に増やしたが、イベント参加者数は前年度比約1000人増と伸び悩んだ。</p> <p>夏場の利用促進のため、夏休み期間中は流れを稼動したほか、芝生広場にスプリンクラーや水を張ったトロ舟を設置し、水場を提供した。立地的に親御さん同伴で車でなければ公園にこれないこともあり、ウィークデーの来園者数が伸び悩んだ。一方で会議室・料理教室の定期利用者獲得に力を入れ、利用者は前年度比約3000人増となった。</p>	<p>イベントの開催数を増やすことで利用者の増加に努めたが、天候等の影響で目標値に達しない結果となった。</p> <p>夏場や平日の利用者数が少ないことから、夏場の利用者の呼び込みや、学校等への情報発信を強化し、利用者数の増加に努めること。</p>
収支状況	<p>公園有料施設利用者が増加する一方で減免での利用が多く、利用料金収入が伸び悩んだ。</p> <p>支出の面では、賃金の上昇により人件費が昨年度より増加した他、夏場の猛暑により光熱水費が多くかかった。</p>	<p>概ね事業計画書通りの収支状況となっている。</p> <p>消耗品費や事務経費を削減することで、修繕費や植栽管理費等の利用者の安全性、快適性につながる業務を多く行っている。</p> <p>今後も計画的な収支に努めること。</p>

<p>自主事業</p>	<p>前年度からの継続で園内8か所に自販機を設置し来園者の利便性を図った。うどんセンターの運営も継続し、家族が気軽に昼をとれる価格帯を維持した。さらに、大規模催事の際には、地域の特産品販売ブースを設置し、徐々に定着してきている。レンタルセットも継続し、バーベキューセットや遊び道具の貸し出しを行い、来園者の利便性向上に寄与することができた。</p>	<p>利用者の利便性につながる自主事業を行っている。 今後も利用者の利便性の向上に努めつつ、利用者数の増加にもつながる自主事業の企画・開催に努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>各項目において、「満足」あるいは「どちらか」と満足」の割合が高く、利用者に充実したサービスを提供することができていると考えている。一方で、イベントの案内を増やして欲しいという旨の意見もあり、より広範囲で多世代に向けた広報が必要だ。</p>	<p>適切な管理運営により高い満足度を得られている。 今後も利用者からの意見を参考に、安全で快適な公園環境の提供を行い、より一層高い満足度が得られるよう努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指数 来園者数 目標値 100,000人 → 実績値 77,161人</p> <p>前年度に引き続き毎週末のイベントの開催や大型イベントの開催回数を年4回から6回への増加したことで、イベント参加数は前年度に比べ1,000人程度増加し、また定期利用団体を誘致したことで有料施設の利用者数も増加する結果となったが、夏場の猛暑の影響や平日の利用者が伸び悩んだことにより、目標値を下回った。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>適切な管理運営により、利用者の安全性を確保出来ており、高い満足度を得られている。</p> <p>SNSや各種メディアの活用、イベント数を増やすことで利用者数の増加に努めたが、夏場の猛暑や平日の利用者が伸びなかったことで利用者が減る結果となった。今後は、夏場の利用者数の増加につながる取り組みや教育関係への情報発信の強化、県全域への情報発信の実施、地元団体へのイベントの誘致等を行い、利用者数の増加に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用者数の増加のため、近隣大学や習い事教室、郡内地域の教育施設等への情報発信、地元団体への持ち込みイベントの誘致を行い、新たに2つの定期利用団体を確保した。さらに、ドッグランやバーベキュー場についての情報を広域を対象とした観光雑誌へ掲載し、これらの利用促進に努めた。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

